

EGFR 阻害剤の皮膚症状に使うお薬について

EGFR 阻害剤(ベクティビックス・アービタックス)を使用すると高い頻度で皮膚疹(ざ瘡様皮膚炎)・皮膚乾燥などの皮膚症状が現れてきます。そのためあらかじめ予防や治療のためのお薬をお持ち帰りいただきます。発現する部位によって使用されるお薬が変わってきます。以下にお薬と使用方法についてご説明します。

◎皮膚の乾燥を防ぐために使うお薬(予防)

ヒルドイドソフト軟膏



(使用方法) 1日2回 **からだ全体**に塗ってください。(頭は除く)
(効果) 肌を保湿して皮膚の乾燥を予防します。
いわゆる「保湿剤」です。

保湿剤(ヒルドイドソフト)の塗り方

〈ご留意事項〉

■お風呂上りには15分以内に塗ってください

■他の塗り薬との塗る順番

1.保湿剤

2.塗り薬(ステロイド剤など)

人差し指の先から第一関節までが1回(約0.5g)の使用量です

保湿剤を点在させ、手の平でやさしく塗って下さい



この量で手の面積2枚分の広さに塗れます

ひしん
◎**皮疹(ざ瘡様皮膚炎)が出てから使い始めるお薬(治療)**
(症状が出るまでは使用しないお薬)

ロコイドクリーム



(使用方法) 1日2回 **顔**に塗ってください。
(症状が現れた部分にだけ)
(効果) 皮膚の炎症を抑えるお薬です。

リドメックスローション



(使用方法) 1日2回 **頭**に塗ってください。
(症状が現れた部分にだけ)
(効果) 皮膚の炎症を抑えるお薬です。

ネリゾナ軟膏



(使用方法) 1日2回 **からだ**に塗ってください。
(症状が現れた部分にだけ)
(効果) 皮膚の炎症を抑えるお薬です。

上記の治療のお薬は、ステロイド外用薬と呼ばれるお薬です。
ステロイド外用薬はなるべく**皮疹部のみに薄く塗る**ようにしましょう。
(注意)保湿剤とステロイド外用薬の塗る順番は、
①保湿剤→②ステロイド外用薬です。

また、上記のお薬を使用しても、かゆみが強くなったり、皮疹がひどくなったりする場合には主治医にご相談ください。

※院外でお薬を受け取る場合は、お薬の名前が異なっていることがあります。詳しくは、院外薬局にてお尋ねください。